

授業科目名		担当講師名		対象学年	
基礎看護学 診療の補助技術・与薬		糸 ふじ代		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	(22)	教室・実習室	前期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	与薬の意義 看護師の役割 与薬方法の理解・演習				
到達目標	与薬の援助技術の基本を学び、安全な与薬の方法が実施できる。				
事前学習	与薬に関する法律 与薬の6R 薬物の作用吸収経路				

### 授業計画

No.	授 業 内 容
1	第9章 与薬の意義と看護師の役割 法律 薬の管理(毒薬、劇薬、麻薬の管理)
2	与薬の種類と吸収排泄経路 医療事故
3	経口与薬法 点眼法 点鼻法 塗布・塗擦法 坐薬法 (グループ学習発表)
4	グループ発表後の演習 与薬の実際(3回6Rダブルチェック) 坐薬法
5	注射法の種類と方法 注意を要する薬 与薬の計算
6	注射器の準備 アンプル詰め 皮下注射の実際
7	筋肉注射のデモンストレーション 演習
8	筋肉注射の演習(注射部位の選定)
9	筋肉注射の演習
10	実技試験
11	終講試験
履修上の要件	専門基礎分野治療論Ⅰにおいて、薬に関する基礎的知識を身につけている。 基礎看護技術安全安楽で無菌操作の技術を修得している。
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座専門Ⅰ 基礎看護学技術Ⅱ 医学書院、 新体系看護学全書 基礎看護施術Ⅱ メジカルフレンド社 看護技術プラクティス 学研
成績評価の方法	グループ学習発表 筆記試験
備考	検査と併せて1単位とする。